

**日本日中関係学会青年交流部会**  
**2022年度第1回定例会**  
**「第10回宮本賞受賞者」を囲んで語り合おう**

皆さまのご好評を受けまして、例年の恒例となった宮本賞受賞者を囲む交流するイベントを、今年度も第1回定例会として下記の通り、遠隔会議システムにより実施する運びとなりました。

学生非会員の方や、壮年・シニアの皆さまも参加できます。「宮本賞レター交流 2022」プロジェクトに参加された方は、著者と話ができる機会ですので、積極的に申し込みください。

●日時・会場 2022年5月25日(水) 日本時間18時30分～21時00分 (Zoomによる開催)

●参加費 無 料

●次第 18:15～18:30 開場・入場タイム

18:30～18:35 開会の挨拶、趣旨説明

18:35～19:10 **<第1部>研究発表** (報告20分+質疑応答15分)

報告者：郭秋欒さん・魏文君さん

(南京大学外国語学部3年、第10回宮本賞最優秀賞受賞者)

論 題：「ポストコロナ時代における中国オンラインツアー産業の現状と展望  
～日本からの示唆～」

19:10～19:15 (休憩5分)

19:15～20:25 **<第2部>座談会：「宮本賞受賞者」を囲んで語り合おう**

☞冒頭でブレイクアウトルームに関する説明の後、  
論文執筆者を交えた座談会で意見交換を行います  
(出席予定の論文執筆者の一覧は次ページ参照)。

20:25～20:30 (休憩5分)

20:30～20:55 **<第3部>全体会** (各ルーム代表者等からの感想)

20:55～21:00 青年交流部会の紹介、閉会の挨拶

●参加申込 5月8日(日)までに青年交流部会事務局にご連絡ください。

・方法① (=できるだけ、こちらの方法でお願いいたします)

Google Forms に入力 <https://forms.gle/U5mChw5S6afWiSBm7>

・方法② (=別添 Excel に入力し、添付ファイルをメール送信)

宛て先：高久保 豊 takakubo.yutaka@nihon-u.ac.jp

件 名：「青年交流部会第1回定例会参加申込」

本 文：お名前のほか、事務局への連絡文を添えてください。

添付ファイル：各項目を入力してください(必須)。

☞ご連絡を頂戴したのちに、ご指定のアドレスに宛てて、参加 URL と  
メールを併せてご送付いたします。

**<第2部>座談会では以下の論文執筆者の皆さんが出席する予定です**

(学年の表記は宮本賞論文を提出した時点のものです)。

<p>郭秋欒さん・魏文君さん (南京大学外国語学部日本語学科 3年) ポストコロナ時代における中国オンラインツアー産業の現状と展望 ～日本からの示唆～</p>
<p>耿雅凝さん (瀋陽大学外国語学部日本語学科 4年) 中国の躺平(タンピン)族の社会的分析 ～日本の若者研究と比較して～</p>
<p>曾小蘭さん (東北大学大学院国際文化研究科博士後期課程 3年) 鄭伯奇青年はなぜ「国民文学」を唱えたのか ～世界主義と世界人の視点から～</p>
<p>楊妍さん (東北大学大学院国際文化研究科・GSICS フェロー) 清末女子学生の日本留学体験 ～近代日本における異文化の融合と衝突～</p>
<p>黄嘉欣さん (明治大学大学院経営学研究科博士後期課程 1年) 中国河北省普陽鉄鋼におけるアメーバ経営の導入の成功要因</p>
<p>袁藹怡さん (中山大学外国語学部日本語学科 4年) 21世紀以降の中国における芥川龍之介文学の翻訳出版</p>
<p>楊皓然さん (大連民族大学外国語学部日本語学科 4年) 若者のSNS利用に関する実態調査 ～中日両国の大学生を対象に～</p>
<p>張陽さん (関西大学東アジア文化研究科博士後期課程 3年) 『下学邇言』における「神儒折衷」 ～国学受容と形而上学の欠如～</p>

以 上